



# Relay Server ホスティング・サービス

Geno Coschi 著

2008/8

このホワイトペーパーは、SQL Anywhere 11を対象に書かれました。  
しかし、この内容は過去及び将来のリリースでも適用できる場合があります。

## もくじ

はじめに	3
Relay Server ホスティング・サービス のアーキテクチャ	3
サービスのサブスクリプション	4

## はじめに

Relay Serverは、多くの重要な利点を持つ SQL Anywhere 11 の新しい機能です。Relay Serverには以下のような特徴があります。

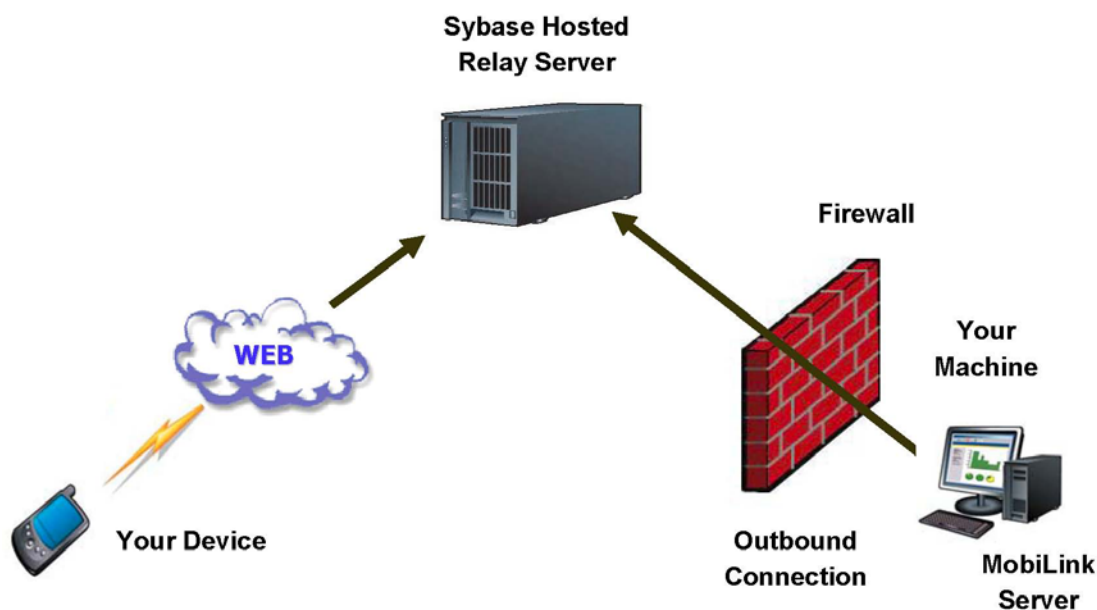
企業の既存のファイアウォール構成およびポリシーに統合しやすい方法で、モバイル・デバイス上で稼働する Mobile Link 同期クライアントとエンタープライズ内で稼働する Mobile Link 同期サーバとの間の通信を強化します。

負荷分散されたフォールト・トレラントな環境を実現するメカニズムを Mobile Link サーバに提供します。Afaria など、他のモバイル・ミドルウェア・サーバと通信するモバイル・デバイスに一般的な通信アーキテクチャを提供します。

Relay Serverの詳細については、SQL Anywhere 11 のマニュアル内の「Mobile Link サーバ管理」を参照してください。

## Relay Server ホスティング・サービスのアーキテクチャ

Relay Server ホスティング・サービス は、Relay Serverのファームです。特に公共無線ネットワークを使用してデータを送信する場合の Mobile Link データ同期を使用するモバイル・アプリケーションの開発を容易にし、評価プロセスを簡素化することを目的としています。開発者は、IT 部門にインストールを依頼したり、企業のファイアウォールに穴をあける必要がありません。Mobile Link とホスティング・サービス間のすべての通信が、Mobile Link によって開始されるアウトバウンド接続を経由する HTTP(S) を使用します。



Relay Server ホスティング・サービス は、製品の配備を行うためのものではありません。製品アプリケーションを配備する前に、まずはRelay Serverを企業インフラにインストールする必要があります。

## サービスのサブスクリプション

Relay Server ホスティング・サービス を使用するには、サブスクリプションする必要があります。

Relay Server ホスティング・サービス をサブスクリプションするには、以下の手順を実行します。

1. Web ブラウザで <http://relayserver.sybase.com/account> を表示します。これは、Relay Server ホスティング・サービスのホーム・ページです。
2. アカウントを作成するために **[Register]** をクリックします。サブスクリバ ID (組織内で一意の ID) およびパスワードと組織の連絡先情報を入力すると、利用規約に同意するよう要求されます。登録が完了すると、登録確認の電子メールが送信されます。
3. **[Log In]** をクリックし、新しく作成したアカウントにログインします。その際、登録処理において入力したサブスクリバ ID およびパスワードを使用します。ログインすると、アカウント管理ページが表示されます。このページでは、サブスクリバ情報を変更したり、このサービスにアクセスする **Mobile Link** サーバ・ファーム (複数可) を指定することができます。
4. **Mobile Link** サーバ・ファームをこのサービスにアクセスさせるには、**[Add New Farm]** をクリックし、必要な情報を入力します。入力が完了したら、**[Create Farm]** をクリックします。
5. サーバの構成が完了したら、**[Configuration Instructions]** をクリックすると、サービスの利用手順が表示されます。表示される手順は、ユーザが入力した情報に基づいています。
6. 作業が完了したら、**[Log Out]** をクリックします。